

こども

発行

11/15

ニュース

園庭の山がケヤキの落ち葉で飾られ、ドロケイをする子ども達と一緒に色とりどりの葉も遊んでいるように舞い落ちてきます。子ども達は思い思いのあそびに夢中です。

身近な実りを手にしたり、園庭にも実る柿や銀杏やアケビなどを見つけ、恐る恐るにおいを嗅いでみたり、なめてみたり。また黄色く透き通るような葉の先に真っ赤なきれいな実を見つけ、それが“へくそかずら”であることを知った子ども達「オナラと、うんちの臭いがするんだよ～」と、得意顔でお母さんに説明している姿が愛らしくて…

先日は父母の会「秋のコンサートと証会」を開催していただき心からお礼申し上げます。卒園生のお父様と在園児のお母さまによる素晴らしい音色に、会場は幸せな空気に満ち溢れました。マイクを通して微かな調べが保育室にも流れ、それを B,G,M,としてレストランごっこを楽しめたクラスもあったようです。

またクリスチャンとして歩まれている在園児のお母さまお二人から、神様からの恵みをお話いただき、心動かされるお話をお聴きすることが出来ました。最後に鎌田在弥牧師から聖書のお話をいただき、この日は贅沢なくらいに豊かな時間に恵まれました。

ご奉仕された方々は勿論、父母の会役員・委員さん、お手伝いくださった方々、そして参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

さて、今年もクリスマスを迎える準備の時=アドベント(キリスト・イエスの待降節)が近づいてまいりました。

今回の“こどもニュース“では、クリスマスを迎えるに当たり、クリスマスの真の意味…子ども達と共に私たちがこの時期に大切にしている一つ一つの事柄…について、またクリスマス讚美礼拝、クリスマス親子礼拝に関してもお伝えします。

今年度から、にじ組さんのクリスマス礼拝も加わり、クリスマスの恵みいっぱい新时期となります。今後数回、クリスマス関連のこどもニュースやお便りを発行いたします。どうぞ良く目を通され、繰り返し確認できるよう大切に保管をお願いいたします。



クリスマスを迎えるにあたって

11月も半ばを迎えました。今、多くの子どもたちが良いお天気に誘われて、身体を動かして遊ぶことに夢中になっています。『運動会』というひとつの行事を通して、一人ひとりに与えられている神様からの賜物（能力）を最大限に生かすことの喜びを感じ、その喜びを謳歌している姿が見られます。神様から頂いた賜物を大切にし、生かすことこそが、神様に喜ばれることなのだと知ってくれたら嬉しいと思います。

神様からの賜物は私たちに与えられた大きな恵みです。その後、おいも掘りや焼き芋パーティーを通して、私たちの周りにたくさんの恵みがあふれていることも知りました。多くの恵みに感謝して、おうちの方々とともに収穫感謝礼拝も捧げることができました。

そしていよいよクリスマス。「神様は私たちのためにイエス・キリストをお与えくださいました。ありがとうございます」と、その恵みに感謝し、礼拝を守っていきたいと思います。これから少しずつ心の準備をしていきましょう。



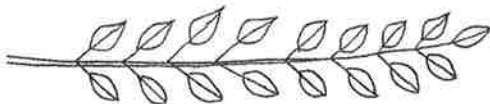
今から2000年前、ユダヤの国ベツレヘムの馬小屋でイエス様はお生まれになりました。世界で初めてのクリスマスは貧しい馬小屋で、ヨセフとマリアと家畜たちに囲まれた静かなものでした。そのイエス様は、今も生きて私達と共にいて下さいます。神様は私達のために、イエス・キリストをお与えになったのです。



神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書 3章 16節



これからクリスマスを迎えるにあたって、クリスマスの本当の意味（本当の喜び）を、子ども達とおうちの方々と共に、少しずつ知っていくことができますように。

幼稚園で迎えるクリスマスは、〈アドベント〉(待降節)という時を過ごし、〈クリスマス讃美礼拝〉、〈クリスマス親子礼拝〉を共に守ります。

この三つの事柄について、以下に書きました。お読みください。



〈アドベント〉

ラテン語で『来る』という意味です。教会では『待降節』という言葉を使うこともあります。つまり『クリスマスが来るのを待つ期間』で、12月25日以前の4回の日曜日の期間を指します。

幼稚園では、この期間に様々な事柄を通してクリスマスの本当の意味を知り、「私のところにもクリスマスの喜びが届きますように」と祈りつつ準備をしながら楽しみにクリスマスを待つ時とします。

アドベント礼拝 教会では4回の日曜日を指しますが、幼稚園ではクリスマス讃美礼拝以前の4回の水曜日の礼拝を指します。アドベント礼拝ではクランツを飾り、そのロウソクに一本ずつ火を灯していきます。そして4本すべてのロウソクに火を灯す時がクリスマス讃美礼拝となるのです。

- アドベントⅠ 11月22日(水)
- Ⅱ 11月29日(水)
- Ⅲ 12月 6日(水)
- Ⅳ 12月14日(木)讃美礼拝

おうちの方も子ども達と共に礼拝を守りませんか? どうぞ10:20までに遊戯室に入室し、ご準備ください。同時に、聖書を読む会にもご参加いただき、クリスマスの心の準備をしていただけたら嬉しく思います。また、教会の諸集会、礼拝にもこの機会にご出席いただけたら嬉しく思います。

アドベントクランツ クランツは花または葉の環状の編み物・花環・葉環の意味です。柊や杉などの常緑樹の枝で輪を作り、ろうそくを立てたものです。常緑樹の緑の環は神の永遠を、赤はキリストの血を表し、ろうそくはキリストが世の光としてこられる喜びを意味しています。常緑樹にはモミの木・ヒイラギ・スギ・マツ・ヤドリギなどもあります。

アドベントカレンダー

アドベントの期間、ひとつずつカレンダーをめくるようにし、イエス様を心に迎える準備をするものです。市販されているものは12月1日から毎日ひとつずつ日にちの部分を開けていくものが多いようです。

幼稚園では一人ひとつずつ作った飾りを毎日飾りつけ、全員が付け終える日が讃美礼拝の日となるように製作していきます。

「今日は誰がカレンダーに飾るのかな」と、わくわくした気持ちで『待つ』ことこそが、イエス様が私のところに来て下さるのを待つ気持ちになるのです。



<クリスマス讃美礼拝>

- | | | |
|-----------|--------------------|----------------|
| 12月13日(水) | 10:45~11:15 | にじ組親子 |
| クリスマス礼拝 | にじ組にて | 保護者は園児一人につき一人 |
| 12月14日(木) | 9:00~11:30 | 全親子 |
| 讃美礼拝 | にじ組の子どもは、 | にじ組にて保育 |
| | にじ組の保護者の方は、 | 遊戯室での礼拝に参加できます |
| | 保護者席は園児一人につき一席 | |
| あつまり | 各クラスに分かれ楽しい時を過ごします | |
| | にじ組兄弟も含め、 | 一緒のクラスで集まります |

讃美礼拝

讃美礼拝とは、聖書に基づいてイエス様の誕生の歴史を再現し、クリスマスの意味を感じて、神様に感謝の礼拝をすることです。つまり、劇をする、劇を見るという気持ちではなく、イエス様を中心として皆で礼拝を守るものです。

この礼拝は、遊戯室をイエス様がお生まれになった馬小屋とし、イエス様を中心に子ども達は座ります。おうちの方からはお子さんの姿が見えるとは限りませんが、共に賛美し、祈る中で心をつにしていきたいと思います。子どもの横顔から、後ろ姿から、セリフを言う声から、賛美する歌声や演奏から・・・そして何と云ってもそこに集う一人ひとりの気持ちから、クリスマスの本当の意味を知り、その喜びを分かち合えたらと思います。

子ども達が、イエス様の誕生を真剣に再現する姿から、私たち大人も毎年大きな感動が与えられます。そこに神様の存在も感じます。「劇」としてではなく、『礼拝』として神様を賛美するからこそ、子ども達を通して、素晴らしい神様の栄光が現れるのだと思います。

《クリスマスページェント》という言葉を目にした事があるのではないのでしょうか。ページェントとは、歴史的な場面を舞台で見せる野外劇のことで、特にクリスマス聖誕劇のことを言います。これは、新約聖書の福音書に記されたイエス・キリストの誕生にまつわる様々なエピソードを象徴的な形式の劇にまとめたものです。こちらは劇というニュアンスの強いものです。

ハレルヤ ハレルヤとは、ヘブル語で『主をほめたたえよ』という意味です。ヘンデルのメサイアに出てくる「ハレルヤコーラス」は、皆さんどこかで聞かれたことがあるのではないのでしょうか。

幼稚園では、讃美礼拝での一つひとつの事柄を子どもたちに伝えていく時間を「ハレルヤ」と呼んでいます。それは「劇の練習の時間」ではなく、「本当のクリスマスを知る時間」「自分に与えられたクリスマスの役割について知る時間」そして「神様、クリスマスの喜びをありがとう！と賛美する時間」と考え、『礼拝』と位置付けているからです。

ハレルヤが始まると、《クリスマスブック》というイエス様降誕のお話を書かれたオリジナルブックをもらいます。おうちの方も一緒にお話を読んだり、讃美歌を歌うなどして楽しみながらクリスマスまで準備をして下さいね。また幼稚園でも使いますから毎日リュックに入れてきて下さい。年長さんから順にクリスマスが近づくにつれて、年中さん、年少さんへとお渡しします。

あつまり 各クラス親子であつまり、楽しいひとときを過ごします。兄弟の方は、後日『在園児兄弟 参加クラスについて』のお手紙をお渡しします。

クリスマスは、神様がひとり子イエス様を私達のために下さった事を心から感謝し、喜び祝う日です。そのことが、神様からの最大のプレゼントなのです。幼稚園では、大好きな方々と喜びを分かち合うことを目的としてプレゼントを作りたいと考えています。自分でできることをして、人に喜ばれる経験ができますように。贈る喜び、捧げる喜びを経験できますように。



<クリスマス親子礼拝>



12月16日(土) 13:00~15:15 全家族
大学アニー・ランドルフ講堂にて
年長児はキャロリング後16:00頃解散

親子礼拝 大学の講堂にて行います。どうぞご家族お揃いでお出かけください。キャンドルサービスや、パイプオルガンの奏樂で歌う讃美歌などを通し、おごそかな心静かな時をお過ごしください。

ご家族、ご近所の方々、卒園児の方々もお誘いください。

ミニコンサート 小さな子どもを連れてコンサートに行くことはなかなかできにくいものです。そこで、幼稚園のみんなも楽しめるコンサートを企画しました。ハンドベルや合唱、時には管弦楽など、毎年違う音楽に触れていきます。

キャロリング 年長児によるキャロリングです。キャロリングとは、クリスマスキャロルを通して、クリスマスの喜びを多くの方に伝えることです。礼拝後、講堂内と大森駅で歌います。大森駅では街の人たちに歌を聴いていただきます。



Chirsa